

平成17年度事業報告

平成17年度加盟チーム登録数

1. チーム数

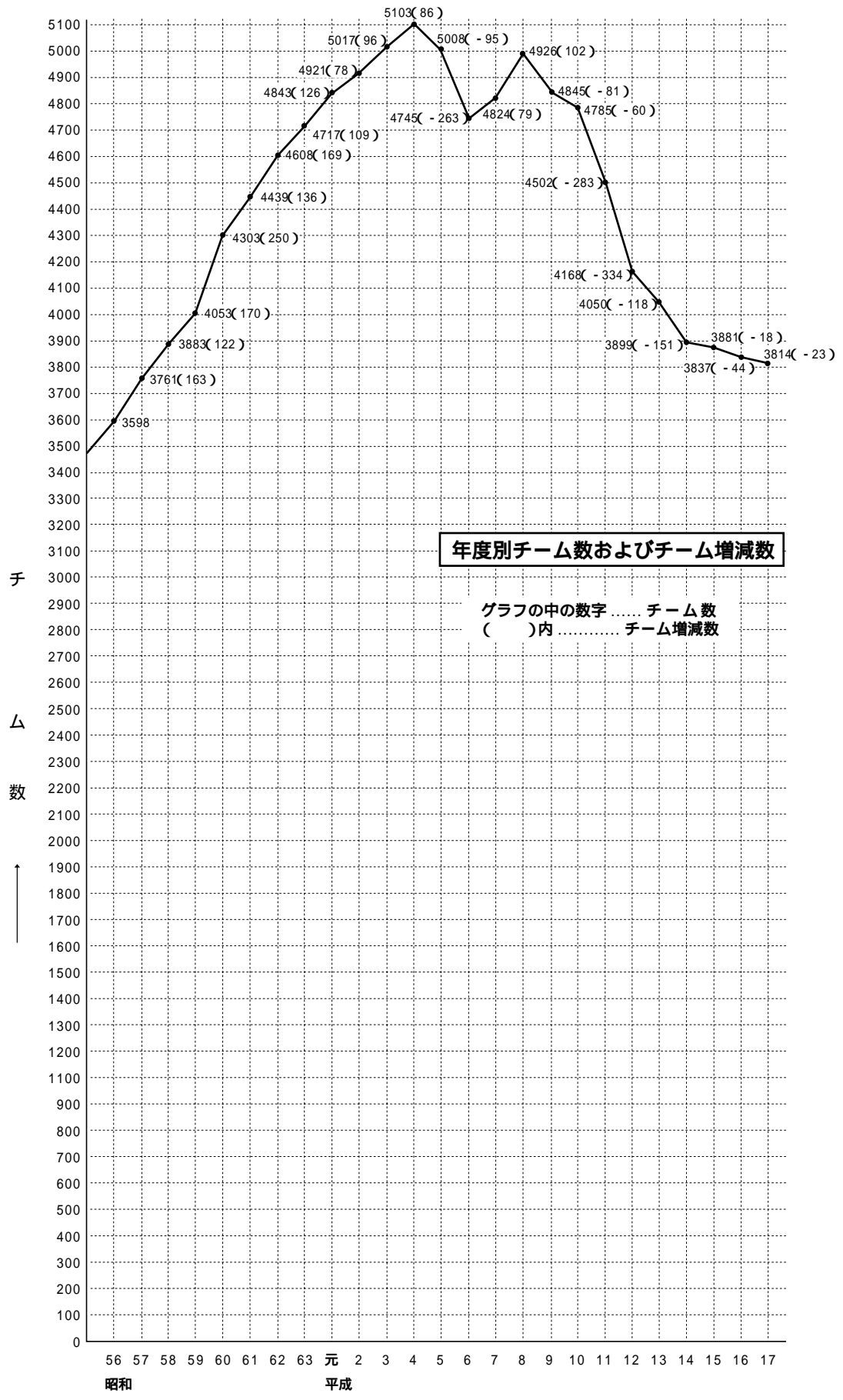
計3,814チーム(R Sを含む)

(前年度3,837チーム、前年度より23チーム減)

地域 チーム数 区分	関 東		関 西		九 州		合 計	
	チーム数	前年よりの増減	チーム数	前年よりの増減	チーム数	前年よりの増減	チーム数	前年よりの増減
中 学	95	+ 5	179	+ 13	52	+ 1	326	+ 19
高 校	554	+ 15	491	- 8	180	- 3	1,225	+ 4
高 専	11	- 1	25	0	8	0	44	- 1
大 学	183	+ 4	149	+ 1	39	0	371	+ 5
社 会 人	185	- 37	108	- 9	60	+ 4	353	- 42
ク ラ ブ	536	- 9	441	- 9	114	- 7	1,091	- 25
小 計	1,564	- 23	1,393	- 12	453	- 5	3,410	- 40
ラグビー フットサル	170	+ 18	168	- 4	66	+ 3	404	+ 17
合 計	1,734	- 5	1,561	- 16	519	- 2	3,814	- 23

2. 競技者・登録数

地域 登録数 区分	関 東		関 西		九 州		合 計	
	登録数	前年よりの増減	登録数	前年よりの増減	登録数	前年よりの増減	登録数	前年よりの増減
中 学	2,756	+ 91	4,585	+ 336	1,123	+ 114	8,464	+ 541
高 校	14,971	- 443	13,328	- 184	5,643	- 151	33,942	- 778
高 専	324	+ 7	716	- 5	266	+ 14	1,306	+ 16
大 学	6,613	+ 106	5,105	+ 28	1,159	+ 48	12,877	+ 182
社 会 人	5,145	- 455	3,475	- 145	1,823	- 43	10,443	- 643
ク ラ ブ	15,745	- 232	11,973	- 414	4,176	- 85	31,894	- 731
小 計	45,554	- 926	39,182	- 384	14,190	- 103	98,926	- 1,413
ラグビー フットサル	12,165	+ 1,680	10,956	+ 269	4,077	+ 196	27,198	+ 2,145
合 計	57,719	+ 754	50,138	- 115	18,267	+ 93	126,124	+ 732



平成 17 年度事業報告

日本協会のビジョンである「ラグビー競技を誰からも愛され、親しまれ、楽しめる、人気の高いスポーツにする」ことの実現を目指して、各関係方面のご協力と連携強化を図り試合開催および各事業を実施した。

国内試合関係

- 第47回 Y C & A C セブンズ
4月3日(横浜 Y C & A C)
決勝:日本 I B M (52-15) セコム
- 第6回全国高等学校選抜大会
4月1日~7日(熊谷ラグビー場)
決勝:啓光学園(24-10) 東海大付属仰星高
優勝の啓光学園 4年ぶり2度目
- ジャパンセブンズ高校の部
4月9日(江戸川競技場)
優勝:カップ・関東選抜
:プレート・近畿選抜・ボール・九州選抜
- 第1回高等学校全国合同チーム大会
8月1日・2日(北海道 夕張市)
優勝:U-17の部
:カップ・近畿:プレート・中国
:ボール・東海
優勝:U-18の部
:カップ・中国:プレート・関東
:ボール・北海道
- ジャパンラグビー-トップリーグ
* リ-グ戦(1節~12節 66試合実施)
9月17日~平成18年1月9日
開催地:宮城・埼玉・東京・千葉・神奈川・新潟・山梨・栃木・群馬・新潟・静岡・愛知・大阪・兵庫・愛媛・福岡・熊本
計17会場で開催
1位:東芝府中:勝点・46(2連覇)
2位:三洋電機:勝点・42
3位:NEC:勝点・41
* マイクロソフトカップ(トーナメント7試合)
平成18年1月22・29日・2月5日
(秩父宮ラグビー場・花園ラグビー場)
決勝:東芝府中(33-18) サントリー
優勝の東芝府中は2連覇
- 第60回 国民体育大会 秋季大会
10月23日~27日(岡山県美作ラグビー場)
優勝:成年男子・三重県(初優勝)
少年男子・大阪府(4年ぶり9度目)
- 第18回女子ラグビー交流大会
11月23日(江戸川競技場)
全国から集まった女子チームの対戦とスクール所属の小学校女子による年代別交流戦、中学女子の紅白戦を実施した。
スクール女子等を含め311名参加
- 第4回東西学生クラブ対抗試合
12月18日(花園ラグビー場)
くるみクラブ(64-33) 同志社大 H & T
- 第42回全国大学選手権大会
12月18日~平成18年1月8日
開催地:東京・埼玉・愛知・大阪・福岡
準決勝 平成18年1月2日(国立競技場)
早稲田大(61-5) 法政大
関東学院大(31-15) 同志社大
決勝 平成18年1月8日(国立競技場)
早稲田大(41-5) 関東学院大
優勝の早稲田大学は2年連続・13度目
- 第85回全国高等学校大会
12月27日~平成18年1月7日(花園ラグビー場)
準決勝 平成18年1月3日
桐蔭学園(12-10) 大阪工大高
伏見工高(15-10) 東海大付属仰星高
決勝 平成18年1月7日
伏見工高(36-12) 桐蔭学園
優勝の伏見工高は5大会ぶり4度目
- 第13回全国クラブ大会
1~2回戦
平成18年1月8・9日(熊谷ラグビー場)
決勝 平成18年1月29日(秩父宮ラグビー場)
タマリバ(10-3) 北海道バーバリアンズ
優勝のタマリバクラブ 3年連続4度目
- 第56回全国地区対抗大学大会
平成18年1月2・4・6日(瑞穂ラグビー場)
決勝:平成18年1月6日
朝日大(17-8) 新潟大
優勝の朝日大は初出場・初優勝
- 第36回全国高等専門学校大会
平成18年1月4日~8日(神戸ユニバー競技場)
決勝 平成18年1月8日
神戸高専(32-7) 宮城高専
優勝の神戸高専 3年連続5度目
- 第11回全国ジュニア・ラグビー大会
平成18年1月4日・6日(花園ラグビー場)
決勝:平成18年1月6日
第1ブロック
九州スクール選抜(12-10) 大阪中学選抜
第2ブロック
近畿スクール選抜(22-10) 愛知中学選抜
- 第29回学校東西対抗戦
平成18年1月15日(花園ラグビー場)
西軍(24-10) 東軍・東軍の16勝12敗 1交流
- 第60回東西学生対抗試合(大学オールスター)
平成18年1月15日(花園ラグビー場)
東軍(67-38) 西軍
* 東西45名ずつ候補選手としてノミネートしファン・報道関係の投票・監督推薦によりメンバーを決定した。

17. 第43回日本選手権大会
平成18年2月・4日・12日・19日・26日
(秩父宮ラグビー場・花園ラグビー場)
準決勝：東芝府中(43-0)早稲田大
NEC(24-16)三洋電機
決勝：東芝府中(6-6)NEC
・両チーム優勝
・東芝府中は2年ぶり5度目の制覇
・NECは2年連続3度目の制覇
18. 三地域対抗試合(三地域協会代表)
平成18年2月19日(花園ラグビー場)
関西代表(31-5)関東代表
平成18年2月26日(秩父宮ラグビー場)
九州代表(61-6)関東代表
平成18年3月5日(鹿児島 鴻池競技場)
関西代表(64-6)九州代表
19. 第56回朝日招待ラグビー
平成18年3月12日(福岡 博多の森)
九州代表(38-27)早稲田大
九州代表は24勝29敗2分 1中止
20. 第2回全国小学生タグ・ラグビー選手権大会
平成18年3月4日～5日(秩父宮ラグビー場)
優勝：カップ：汐入小ベアーズ(2連覇)
優勝：プレート：江津東小学校
優勝：ポール：チーム葛飾
21. ジャパンラグビートップリーグ入替戦
リコー 34 - 20 ホンダ：セコム 31 - 20 九州電力
サニックス 46 - 20 近鉄：ワールド 50 - 8 NTT東
* トップリーグ所属4チーム残留

国際試合関係

1. U19世界選手権(12チーム参加)
3月27日～4月12日(ダーバン)
日本1勝5敗・11位・12位決定戦でグリジアに
24-0で勝ちAグループ残留
2. 日本代表・ウルグアイ(世界15位)・アルゼンチン
(世界8位)遠征
4月16日(ウルグアイ・モンテビデオ)
日本(18-24)ウルグアイ
4月23日(ブエノスアイレス)
日本(36-68)アルゼンチン
3. 2005 ASIAN WOMENS 7 CHAMPIONSHIPS
4月15日～16日(シンガポール)
参加国：9カ国・日本・アラビアンガルフ
・シンガポール・スリランカ・ウズベキスタン中
国・カザフスタン・アラビア・タイ
第1日目(15日)：日本3勝1敗
第2日目(16日)日本はカップ戦に出場
カップ準決勝：日本(21-5)シンガポール
：カザフスタン(39-0)香港
決勝：日本(5-24)カザフスタン：日本は2位
* 坪井良子選手がプレーヤーオブマッチに選
ばれる
4. ニュージーランド学生選抜来日
4月24日 日本A(18-42)NZU(長居2)
4月27日 日本B(23-38)NZU(秩父宮)
5月1日 日本学生代表(29-31)NZU(秩父宮)
5. ワールド・ラグビユース - 交流大会
4月29日～5月5日(福岡・宗像市)
海外8カ国高校チーム・日本高校チーム8チーム
優勝：クライストチャーチハイスクール(NZ)
準優勝：サウスポートスクール(豪州)
6. RWC2007アジア地区予選
日本・韓国・香港・3ヶ国
5月8日 日本(91-3)香港(秩父宮)
5月15日 日本(50-31)対韓国(韓国)
5月22日 韓国対香港(香港)
7. 第7回日韓定期戦(アジア地区予選兼)
5月15日 日本(50-31)韓国(韓国)
8. スーパーカップ2005
5月25日 1回戦 2試合(国立・ナイター)
カナダ(世界14位)(30-26)アメリカ(世界16位)
日本(世界17位)(23-16)ルーマニア(世
界13位)
5月29日 3位・決勝戦(秩父宮ラグビー場)
3位決定戦 アメリカ(28-22)ルーマニア
決勝戦 日本(10-15)カナダ
9. アイルランド代表来日(世界7位)
6月12日：(長居陸上競技場)
日本(12-44)アイルランド
6月19日：(秩父宮ラグビー場)
日本(18-47)アイルランド
10. 女子RWCアジア予選(タイ)
日本・香港・カザフスタン・タイ(4カ国)
6月3日：日本(79-0)香港
6月5日：日本((3-19)カザフスタン
日本はカザフスタンに敗れアジア代表の座を獲
得出来ず。
11. 7人制・ワールドゲームズ2005大会
7月22日～23日(ドイツ・デュイスブルグ)
8カ国参加・1位フィジ・日本7位
12. 高校日本代表 オーストラリア遠征
第1戦 8月6日(タンズビル)
日本(27-22)北クイーンズランド高校代表
第2戦 8月10日(ゴールドコースト)
日本(30-69)クイーンズランド高校代表
第3戦 8月14日(シドニー)
日本(33-41)ニューサウスウェールズ高校代表
第4戦 8月18日(シドニー)
日本(5-103)オーストラリア高校代表
13. 第13回 日・韓・中 ジュニア交流競技大会
1日目・8月24日
日本(啓光学園)(29-20)
北海道選抜(67-0)中国

- 2 日目・8月27日
日本（啓光学園）(83 - 0) 中国
韓国（24 - 24）北海道選抜
- 3 日目・8月27日：韓国（56 - 3）中国
14. 第1回80 - 80ラグビー国際大会（タイ）
8月6日～14日
日本（流通大）・タイ・オークランド州代表・
ニューサウスウェールズ州代表の4チームが参加
日本は4戦4敗・4位
*タイラグビー協会主催で体重85kg未満の選手
の大会 体格のハンディのあるアジア地域の
ラグビー発展のために企画された。
15. ニューカッスル・ファルコンズ来日
8月20日（国立競技場・ナイター）
NEC（6 - 73）ファルコンズ
8月23日（豊田スタジアム）
トヨタ自動車（29 - 24）ファルコンズ
*初来日となったファルコンズはイングランド
最高峰リーグである「プレミアシップ」所属
イングランド代表SOウィルキンソン・元豪州代表
FBパーク選手など世界のスターが所属
16. デフ（聴覚障害者）世界大会 大会中止
イングランド・ウェールズ遠征に、結果は0勝
3敗であるが、各国クラブ関係者等と積極的に
交流会を行い親交を深めた。
17. 日英学生対抗戦2005（ケンブリッジ大学来日）
第1戦・9月10日（秩父宮ラグビー場）
関東学院大（21 - 7）ケンブリッジ大
第2戦・9月14日（八王子・柚木競技場9）
法政大（45 - 11）ケンブリッジ大
第3戦・9月18日（秩父宮ラグビー場）
早稲田大（33 - 8）ケンブリッジ大
ケンブリッジ大初めての3戦全敗
18. スペイン代表来日
11月5日（秩父宮ラグビー場）
日本（44 - 29）スペイン代表
19. 第10回U19アジア大会
12月11日～17日（バキスタン）
Aグループ：韓国・タイ・スリランカ
Bグループ：日本・中華台北・マレーシア
アラビアンガルフ
Aグループ1位韓国・Bグループ1位日本が
決勝戦 韓国（3 - 25）日本
日本が韓国をノートライでおさえ、見事アジア
チャンピオンに返り咲き。2年ぶり5度目優勝
20. W杯招致関係
5月13日 W杯日本招致申請書の提出
6月22日～28日 W杯委員会日本視察
10月15日～28日・11月23～29日
：欧州各国協会へのプレゼンテーション
11月17日 IRB理事会にて投票
：11対10（投票予想）でNZに決定

・（財）日本体育協会関係

日本体育協会の事業計画は次の通りであり、当協会はこれに協力した。

- 国民スポ - ツの普及・振興に関する事業
国民スポ - ツ振興の推進と体制強化
スポ - ツ指導者養成事業の推進
スポ - ツ少年団の充実
生涯スポ - ツの推進
国際交流事業等の実施
国民体育大会開催とブロック大会への助成等
スポ - ツ医・科学研究の推進
スポ - ツコ - チサミットの開催
広報活動の充実
スポ - ツ情報システムの充実
子どもの体力向上推進事業
地域子ども教室推進事業
関連事業の推進
- 財政の確立
- 第60回岡山国体への参加した。
- 評議員会への出席
- 国体運営専門部会への出席した。

・（財）日本オリンピック委員会関係

- JOCの事業計画は次の通りであり、当協会はこれに協力した。
・選手を育成・強化する事業
・強化合宿事業
・アンチドーピング活動推進事業
・オリンピックムーブメントを推進する事業
- 次の事業に助成を申請する。
・高校日本代表夏季強化合宿
- 評議員会・総務委員会への参加。

・（独）日本スポーツ振興センター関係

- 日本スポーツ振興センターの事業計画は次の通りであり、当協会はこれに協力した。
スポーツ施設の運営・提供に関する事項
・大規模スポーツ施設における稼働日数の確保
国立競技場・秩父宮ラグビー場
・スポーツ施設利用者の利便性の向上
・スポーツ施設の活用の促進
国際競技力向上のための研究・支援事業
・一体的な事業の実施
・連携による競技力向上プロジェクトチーム型研究・総合的支援活動の実施
・研究成果および収集情報の提供
スポーツ振興のための助成に関する事項
・効果的な助成の実施
・助成申請者の利便性の向上
・スポーツ振興助成のため安定的な財源の確保
スポーツ及び児童生徒等も健康の保持増進に関する調査研究並びに資料の収集及び提供等に関する

事項

関係団体等との連携

その他業務運営に関する事項

・危機管理体制等の整備

災害時等緊急時に即応可能な体制整備を行うとともに、予防点検や予防訓練を実施し、防災対策を推進するなど危機管理の維持・充実に努める。

施設及び執務環境の整備

・スポーツ施設の保守・改修

2. 次の事業に助成を申請した。
 - ・アンチドーピング事業
 - ・トップリーグ活性化事業
 - ・高校代表強化事業

各委員会関係

1. 総務委員会

次の事業を実施した。

1. 地域協会との連携・強化に関する事項の推進
2. 施設（ジャパクラブ、電光表示装置、練習グラウンド等）の効率的な運用を図った。
 - * ジャパクラブ：試合日ごとに元ジャパン選手・役員・協賛企業等の関係者に利用してもらった。
 - * 電光掲示板
試合日ごとに専門業者に委託し、わかりやすい、電光表示に努めた。
 - * 練習グラウンド（辰巳の森）年間を通じてラグビーの普及を中心に利用してもらった。
3. 施設・用具・人工芝等に関する事項を検討し答申した。
 - * 競技場施設検討する特任理事に任命された。
 - * 用具（試合球）18年度公式戦よりシームレスボールの採用の答申・理事会で決定した。
 - * ロングパイル人工芝の関するガイドラインの検討・理事会への答申決定 7月人工芝メーカーへの説明会の実施 2ヶ所のグラウンドに適合証明を発行した。
4. スポーツ拠点づくり 全国高等学校選抜大会に総務大臣賞を受賞した。
5. 各委員会の業務内容の調整を行った。

2. 法務委員会

次の事業を実施した。

1. W杯招致活動活性化に伴い諸契約のレビューを可能な限り委員で行った。
2. 契約関連紛争の再発防止のための協会内規則策定要請を行った。
3. 肖像権関連規定の見直しを行った。
4. スポーツ仲裁機構の有効活用方法の検討した。
5. その他必要事項

3. 財務委員会

次の事業を実施した。

委員会開催7回

平成17年度の執行状況を点検するとともに、平成18年度の予算編成に当たって各委員会の事業計画等についてヒヤリングを行った。その結果に基づき、協会運営の問題・課題について問題提起を行った。

具体的な実施事項は次のとおり。

1. 平成17年度予算の執行状況および資金収支状況の把握し、委員会開催の都度、予算執行、資金収支状況を点検するとともに、イレギュラーな支出についての事情聴取等実施した。
2. 会計監査報告への対応
東陽監査法人の会計監査結果についての報告会を開催し、指摘事項の内容を確認した。
3. 税務調査への対応
東京国税局の見解に基づく協会としての対応案をまとめ、理事会に報告した。
4. 平成18年度予算案への対応。
予算総額前年比10%減の目標を掲げて予算作成依頼を発信した。各委員会別担当の財務委員を決めて事前の調整をおこなった上で、各事業予算のヒヤリングを行った。
5. 「財務リスク分析報告書」の取りまとめと運営についての問題提起
平成18年度予算の取りまとめ過程において、ここ数年の財務余力の減少傾向の分析にもとづく財務規律の必要性と財務改善のための提言についてまとめた「財務リスク分析報告書」を提出した。また、この報告書の根底にある協会運営についての問題意識について、財務委員会における討議内容を文書化し、報告書に添付した。

4. 広報委員会

事業目的達成のため、以下の基本方針に沿って事業を実施した。

<事業方針>

- ・ラグビー関係者、選手、ファンなどラグビーに関わる全ての人々と円滑な関係を構築し、ラグビーの普及振興とその健全な発達を図る。
- ・2011年のワールドカップの日本への誘致を達成する。

<事業活動全般>

1. 誘致委員会との連携により2011年のワールドカップ誘致に向けた活動の推進を図ったが、残念ながら誘致することは出来なかった。
2. トップリーグ、全国大学選手権、マイクロソフトカップ、日本選手権など協会の主催する大会を通じた活動の推進した。
3. 強化委員会との連携により各世代（各カテゴリー女子ラグビー）の日本代表を軸にした活動の推進した。

4. 強化委員会との連携を密にした活動の推進した。
5. 費用対効果の再検討と新しい活動の推進した
以下 実施項目及び具体的な実施事項の詳細は、次のとおりである。

<実施項目>

1. メディアリレーションズ:パブリシティ業務全般
 - ・記者発表の企画・運営を行った。
 - ・報道用資料の作成・リリースを行った。
 - ・個別インタビューのアレンジを行った。
2. カスタマーリレーションズ:顧客向け業務全般
 - ・ファン拡大、観客増に向けた取り組みを行った。
 - ・コミュニケーションツール制作した
 - ・NHKとの共済によるイベント運営した
3. コミュニティリレーションズ:地域交流業務全般
 - ・地域・公的機関への協力した。
 - ・自治体活動への協力を支援した。
4. サイバーリレーションズ:ITベースのPR業務
 - ・ホームページ運営管理・メンテナンスを行った。
 - ・現状の再検証と新しい展開の検討と実施し、アクセス数の増加に伴う、サーバーの容量と、対応策に課題を残した。
 - ・デジタルコンテンツを開発した。
5. インナーリレーションズ:関係者業務全般
 - ・各委員会との連携した。
 - ・地域協会など諸団体とのリレーション活動を行った。
 - ・機関誌を年5回発行した。
 - ・HP活用の推進を図った。
6. リスクマネジメント:危機管理業務全般
 - ・危機管理予防策を講じ初期対応を行うと同時に、今後の対応策を練り、マスコミ対応を行った。
 - ・マニュアル作成を作成し、各カテゴリーごとのチーム集合時に、講習会を開催し、周知徹底を図った。
 - ・勉強会など研修を実施した。
 - ・連絡体制作りを行った。
 - ・重症事故対策プロジェクトと連動し、HPでの告知などを徹底した。

<具体的な実施事項>

1. 機関誌
 - ・誌面の充実により、購読者数の増加を図った。
2. イベント
 - ・NHKとの連携により、イベントを開催した。
3. ホームページ
 - ・リアルタイムな情報を提供を目指したが、ハードソフト両面で課題を残した。
 - ・情報量を増加させた。
 - ・個人情報管理を含めた危機管理を徹底した。
4. 記録管理
 - ・インターネットによる業務の充実化を推進した
 - ・試合記録情報をデジタル化してデータベース化に努めた。

- ・地域協会との連携を図った。
 - ・紙データのデジタルベース化を推進に努めた。
5. 文化伝承活動
 - ・散逸または整理のできていない資料の整理を部分的に行った。
 6. ワールドカップ誘致活動
 - ・誘致委員会の立案に沿って、電通との連携の上、広報活動を実施したが、誘致は叶わなかった。
 7. メディア対応
 - ・定期的に記者会見を実施した。
 - ・強化委員会と連動し、記者懇談会を開催した。
 - ・プレスリリースをタイミングより多く配信した。
 - ・関係者との連携を密し懇親会を実施した。
 - ・報道用スペース、機器などの充実を図るよう働きかけを行ったが、更なる充実の検討を要する。
 - ・ミックスゾーンの充実など取材導線に配慮した形を検討実施した。
 8. 各種出版
 - ・日本代表に関するカードを作成しファンへのサービスと新規ファンの拡大を図った。
 - ・用語集の改定版を発刊する準備を行った。
 - ・新規及び従来発刊済みの出版物の次年度発行を検討した。
 - ・ラグビー関連の出版物整理を行う準備を行った。
 9. 強化広報
 - ・代表チーム等に関し、密な関係を作り、ニュースの価値を高め、積極的な広報活動を図り、メディアへの露出を高めるよう努めた。
 10. プログラム
 - ・作成は、事業委員会と連動し販売に協力した。

5. ルール委員会

次の事業を実施した。

1. 5月 IRB改正ルールの翻訳・当年度詳細内容についてIRBへ確認・邦文競技規則の書き換え高専・高校以下のための特別競技規則の存廃に関して理事会上程原案作成・改正ルールの内容につき協会機関誌及びホームページ等で解説。
2. 6月 日英対照による、競技規則全般の見直し問題点につき、IRBへ問い合わせ確認した。
 - ・IRB理事国からのルール改正提案集に対する日本協会としての見解集約し回答した。
 - ・2005年度ルーリングに関して、詳細の確認、翻訳、周知徹底
3. 8月 平成17年度日本協会競技規則発刊
4. 9月～10月 新ルールの適正な運用のため関連委員会と調整、促進した。
5. 11月 2005年度IRBルーリング追加分に関して、詳細の確認、翻訳、周知徹底した。
6. 12月 IRB改正ルールの翻訳・詳細内容について最終確認・邦文競技規則の書き換え
 - ・改正ルールの内容につき協会機関誌及びホーム

ページ等で解説。

7. 平成18年2月
 - ・IRB理事国からのルール改正提案集に対する日本協会としての見解集約、回答した。
 - ・ルールの運用並びにレフリングとの一貫性に関して関連委員会と確認調整した。

6. レフリー委員会

次の事業を実施した。

1. 委員会開催

<全体会議について>

- 第1回 5月15日・協会会議室
 - ・平成17年度事業計画、平成17年度役割分担、その他審議を行った。
- 第2回平成18年3月18日・協会会議室
 - ・平成17年度事業報告、平成18年度予算
 - ・平成18年度レフリーランクほか審議理事会への答申案の作成を行った。

<運営委員会について>

- 第1回 11月13日・東京
 - ・平成17年度日本協会主催全国大会レフリー割付ほか審議を行った。
- 第2回 12月29日・大阪
 - ・マイクロソフト・日本選手権等のレフリー割付ほかの審議を行った。

<総務委員会・三地域委員長合同会議について>

- 第1回 4月16日・日本協会会議室
 - ・第1回委員会開催に向けて・春季トップレフリー研修について・レフリーアカデミー活動について審議を行った。
- 第2回 6月12日・日本協会会議室
 - ・TTT講習会(IRB主催)について、夏のレフリー研修会について審議を行った。
- 第3回10月15日・日本協会会議室
 - ・レフリー海外派遣について・運営委員会開催に向けてほか審議を行った。
- 第4回3月4日・国立競技場会議室
 - ・第2回委員会開催ための審議を行った。

2. レフリー研修活動

若手有望レフリー研修 3月31日～4月2日・高校選抜大会(熊谷)1・2回戦を担当し、研修を行った。

*受講レフリー8名 講師 4名参加

三地域トップレフリー研修 8月19日～22日

長野県菅平高原 エリアパークにて平成17年度A2レフリー選出を行った。

*受講生40名、講師 18名参加

トップレフリー研修会開催 8月26日～29日

長野県菅平高原 エリアパークにて

・A1 3名・A2 9名・アカデミー5名

計17名、講師 11名、

トップレフリー2名 参加

アジア・パネル・レフリー研修会

- ・8月25日～29日・長野県菅平高原「さわがに」にて日本5名、スリランカ1名、香港1名、計7名のレフリー参加
- ・IRBより講師3名/日本よりサポート4名参加。

レフリー研修の実施 12月26日～30日

- ・花園ラグビー場 都ホテル・A2レフリー31名、アカデミー5名 計36名 講師16名参加。

「チーム13」北海道研修会 8月5日～

- 8日・トップレフリー14名・コーチ5名参加
- レフリングの基準を討議し、実技を通じて検証した。

アカデミーレフリー研修会

年間計画通り研修実施した。中間報告は機関紙に掲載済み。

「チーム13」集合研修

- ・第1回集合研修会・5月28日～29日・協会会議室
- ・第2回集合研修会・7月2日～3日・協会会議室
- ・チーム・レフリー合同会議・9月4日・11月5日・2回開催・協会会議室

3. 評価活動・コーチング活動について

アセッサー研修 8月19日 菅平・ビデオ中心に研修会を実施した。

アセッサーはシーズン中アセスメント活動を実施 総数約270枚(A・A1・A2)のレポートを提出した。

コーチングはA2レフリーを対象にシーズン中コーチングを実施した。

4. 評価ランキングと公認について

評価表をもとに、委員会で平成18年度A級・A1級レフリーを審議を行い、理事会へ答申した。

5. 海外派遣・交流について

<派遣>

<U19ワールドカップ>

- ・3月27日～4月17日(南アフリカ)
- REF: 平林

<ワールドカップ・アジア予選関係>

- ・5月14日～15日(韓国)日本対韓国
- TJ2: 御領園・アセッサー: 大倉
- ・5月19日～21日(台湾)
- 中華台北対アラビアンガルフ
- REF: 谷口・YJ1: 原田・TJ2: 河野
- ・6月9日～12日(シンガポール)
- シンガポール対タイ
- REF: 桜岡TJ1: 渡辺 TJ2: 谷口
- ・6月16日～19日(グアム)
- グアム対インド
- REF: 御領園・TJ1: 平林・TJ2: 篠原
- ・6月24日～6月27日(スリランカ)
- スリランカ対シンガポール

- REF：原田
- ・ 6月25日～6月27日（マレーシア）
マレーシア対グアム
アセッサー 竹森
 - ・ 11月10日～13日（スリランカ）
スリランカ対カザフスタン
REF：相田・TJ1：平林・TJ2：岸川
- <2006女子ワールドカップ予選>
- ・ 6月1日～6月6日（タイ）
TJ：岸川
- <U19アジア大会>
- ・ 12月8日～18日（パキスタン）
REF：原田
- <IRBドバイ・セブンズ>
- ・ 11月27日～12月4日（ドバイ）
TJ：平林
- <アジアゲームズ・予選>
- ・ 平成18年2月3日～6日（香港）
REF：平林
- <サウス・イースト・アジアン・ゲーム>
- ・ 12月2日～5日（フィリピン）
REF：谷口
- <ゲームズ10>
- ・ 平成18年2月3日～6日
REF：石本
- <IRBレフリーマネージャー会議>
- ・ 平成18年2月1日～4日（ロンドン）
レフリー委員：宮原
- <招聘>
- <ワールドカップ・アジア予選関係>
- ・ 5月6日～9日（秩父宮）日本対香港
REF：ドースク（韓国）・TJ2：ドリック（香港）
- <スーパーカップ関係>
- ・ 5月22日～5月30日（秩父宮）
REF：デュロレット（カナダ）・バレン（米国）
アセッサー：キーオ（AUS）・リレイ（NZ）
- <対アイルランド・テストマッチ>
- ・ 6月12日（長居スタジアム）
REF：オーウェン（ウエールズ） TJ1：ホワイトハウス（同）・YJ2：ワトキンス（同）
アセッサー：エイチマン氏（NZ）
 - ・ 6月19日（秩父宮）
REF：ホワイトハウス（ウエールズ） TJ1：オーウェン（同）
TJ2：ワトキンス（同）・エイチマン（NZ）
- <対スペインテストマッチ>
- ・ 11月3日～11月6日（秩父宮）
 - ・ 11月5日 REF：コール（豪州）
- <交流>
- ・ 11月18日～28日
オーストラリアよりイアン・スミス氏が交流で

- 来日。関西・関東でレフリー研修を行う。
- ・ チーム13活動に対して12月2日より18日まで、オコーナー氏（A）レフリーコーチを招聘。
- ・ チーム13活動に対して、NZより1月20日から29日まで、スチュアート・バイセル氏をアセッサーとして招聘。

6. 備品関係その他

- ・ IRBマニュアル整備
- ・ タッチジャッジマニュアルのレベル1・2・3を翻訳し、教材として使用できるように整備した。
- ・ レフリーデータ管理システム（ソフト）を購入
レフリーのデータの収録を図った。

7. 国体委員会

次の事業を実施した。

- 平成17年度開催予定の岡山県ラグビー協会および岡山県と美作町との打ち合わせを行った。
- 平成18年度以降開催が予定されている各県ラグビー協会との打ち合わせを行った。
平成18年度：兵庫県、平成19年度：秋田県、平成20年度：大分県
- 国体委員会の開催 7月23日 13時～
会場：（財）日本ラグビー協会 会議室
主議題：大会規模の適正化による参加チーム減に伴うブロック割当ての変更について
- 競技会場の視察：山口県（平成23年度開催予定）
期日：8月4日・5日
会場：山口県長門市・山口市
視察者：小畔 東（国体委員長）
内容：会場の視察及び開催準備の進捗状況確認
- 第60回国体（岡山県）組み合わせ抽選会
期日：9月22日 12時～
会場：（財）日本ラグビー協会 会議室
出席者：日本体育協会・日本ラグビー協会・岡山県ラグビー協会・岡山県実行委員会・美作町実行委員会・兵庫県（次期開催県）等各関係者が出席した。
議題：成年の部および少年の部の抽選会
- 第60回国体（岡山県）への参加
 - ・ 大会期日 10月23日～27日（5日間）
会場：成年男子：岡山県美作ラグビー場
少年男子：同 上
 - ・ 代表者会議 10月22日14時～
会場：みまさかアリーナ
 - ・ オープニングセレモニー 10月22日17時～
会場：みまさかアリーナ
 - ・ 表彰式 10月27日12時20分～
会場：岡山県美作ラグビー・サッカー場
成績 第1位 成年男子：三重県（初）
第1位 少年男子：大阪府

8. 社会人委員会

次の事業を実施した。

1. トップリーグを除く社会人ラグビーを発展させるための諸施策を実施した。
2. 三地域協会と協力して試合運営を円滑に進めるための打ち合わせの実施。
3. 各種国際試合へ観戦のための動員依頼を行った。
4. 国体・成年の部参加ため各チームへの参加依頼を行った。
5. 関東社会人連盟との連携で1～4部チームへ活動支援を行った。
6. YCACセブンス大会運営支援を行った。
日本IBMが優勝を飾った。

9. 大学委員会

次の事業を実施した。

1. 大学ラグビーを発展のため、従来の東西対抗試合をファンが選ぶオールスター戦（従来の東西対抗）に変更し、実施した。
2. 全国国国地区対抗大学大会の開催
初出場の朝日大が初優勝を飾った。
3. 大学ラグビーの普及のための打ち合わせの実施。
4. 観客動員のための各大学への動員依頼

10. 高等学校委員会

次の事業を実施した。

1. 高体連関係
第1回常任委員会・全国委員長会議
4月9日～10日（東京：フロラシオン青山）
 - ・平成16年度事業報告・決算報告
 - ・平成17年度事業計画・予算案等の審議
 - ・新規事業計画について臨時常任委員会
5月4日～5日（福岡・グローバルアリーナ）
 - ・合同チーム全国大会について検討
 - ・サニックスワールドユース交流大会見学第1回高等学校委員会10月22日（岡山県：美作）
 - ・大会関連、強化関連事業報告
 - ・安全対策について
 - ・新規事業計画について第2回常任委員会・全国委員長会議
12月25日～26日（大阪：クライトン新大阪）
第2回高等学校委員会
全国高体連会議
 - ・評議委員会 5月25日
平成18年3月4日
 - ・全国総体中央委員会 9月30日
 - ・専門部長・委員長会 11月18日
2. 事業報告
<大会関係>
第6回全国高等学校選抜大会
4月1日～4月7日（熊谷ラグビー場）

決勝：啓光学園（24 - 10）東海大付属仰星高校セブンス大会

4月9日（江戸川競技場）

- ・カップ優勝 関東選抜
 - ・プレート優勝 近畿選抜
 - ・ボウル優勝 九州選抜
 - ・MVP 清水選手（関東・白根高校）
 - ・15人制チームを編成できない高校の選手を全国の9ブロックで選抜チームを編成。9チームによる予選リーグ、決勝リーグ戦で行った。
- 第1回高等学校全国合同チームラグビー大会

・7月31日～8月2日（北海道・夕張市）

- ・カップ 優勝：U17・近畿U18・中国
 - ・プレート優勝：U17・中国U18・関東
 - ・ボウル 優勝：U17・東海U18・北海道
- 国民体育大会・少年の部
-
- ・10月22日～10月28日（岡山県。美作市）
-
- ・優勝 大阪（35 - 29）大分 準優勝
-
- 第85回全国高等学校大会
-
- ・12月27日～平成18年1月7日（花園ラグビー場）
-
- ・決勝：伏見工高（36 - 12）桐蔭学園
-
- 第29回高校東西対抗戦
-
- ・平成18年1月15日（日）（花園ラグビー場）
-
- 西軍（24 - 10）東軍
-
- （東軍の16勝12敗）

第36回全国高等専門学校大会

- ・平成18年1月4日～9日（神戸総合運動記念競技場）
決勝 神戸高専（32 - 7）宮城高専

<強化指導>

- 高校日本代表選考セレクション合宿
5月27日から30日（大体大）
高校日本代表強化合宿
6月10日から13日（兵庫県・太子町）
高校日本代表直前合宿
8月1日から3日（大体大）

<普及指導>

- 合同チーム交流大会兼第26回普及指導講習会を9ブロックで実施
北海道 5月1日～3日
その他 平成18年3月下旬

<指導者研修会>

- 第30回高校ラグビー指導者研修会
平成18年1月13日～15日
日本青年館・協会会議室
講演 強化：勝田 隆氏
講演 普及指導：尾崎良巳氏
講演 安全対策：渡辺一郎氏 山田睦雄氏
研究発表 中澤孝弘先生（北海道）
小出茂樹先生（長野県）
古川幸隆先生（山口県）

<海外交流>

- サニックス2005ワールドラグビーユース交流大会

4月29日(金)～5月5日
 優勝 クライストチャーチボーイズハイスクール(NZ)
 準優勝 サウスポートスクール(オーストラリア)
 高校日本代表オーストラリア遠征
 8月3日～8月19日
 8月6日:
 日本代表(27-22)北クイーンズランド高校代表
 8月10日:
 日本代表(30-69)クイーンズランド高校代表
 8月14日:
 日本代表(33-41)サウスウエールズ高校代表
 8月18日:
 日本代表(5-103)オーストラリア高校代表
 日・中・韓ジュニア交流競技会
 8月23日～27日(北海道)
 8月24日:日本(啓光学園)(29-20)韓国
 北海道選抜(67-0)中国
 8月26日:日本(啓光学園)(83-0)中国
 北海道選抜(24-24)韓国
 8月27日:韓国(56-3)中国
 第10回U19アジアラグビーフットボール大会
 12月11日～17日・パキスタン
 日本(41-0)中華台北:日本(48-12)マレーシア
 日本(74-0)アラビアンガルフ:日本(25-39)韓国

<その他>

1. 新規事業の検討会の継続
2. 地区決勝放映を全都道府県で実現を目指す。各都道府県で差がある。
3. 拠点づくり事業申請 第2地区拠点づくりの検討
4. 普及指導講習会と強化指導の連携
強化委員会との連携による個人レベルの向上
5. マウスガードの義務化 全ての試合に義務化を図る。今年度は全国高校大会から義務化
18年度から全ての高校大会義務化

11. クラブ委員会

次の事業を実施した。

1. 日本クラブ委員会アピールの推進
2003年度に宣言した「日本クラブ委員会アピール」は3年目に入り、その理念を具現化するため地域や行政と連携した施策を推進している。単なる「同好会」型チームから、地域に根ざした欧米型モデルを推進した。
2. クラブ委員会アピール/クラブラグビー10年構想の実現に向かって諸事業を推進した。
3. クラブ大会(競技会)の開催
第43回日本選手権大会へクラブ代表が出場
 - ・全国クラブ大会優勝チームのタマリバクラブが日本選手権クラブ杯を獲得した
 - ・1回戦:2006年2月5日 秩父宮
 - ・対戦:早稲田大学(大学選手権1位)

- ・状況:後半半ばまで同点となる均衡ゲーム。最後はフィットネスの差が出て点差がついたが、クラブの実力は確実に向上している

第13回全国クラブ大会

- ・1～2回戦:2006年1月7日～10日(熊谷)
- ・決勝戦:1月30日(秩父宮)
- ・参加数:8チーム(関東/タマリバ、北海道バーバリアンズ、三鷹オールカマーズ、関西/六甲、千里馬、岡山クラブ、九州/甲南、ウルトラマン)によるトーナメント戦
- ・成績:タマリバ 10-3 北海道バーバリアンズ
- ・状況:昨年までの大味の続いた決勝戦から一変し、僅差でスリリングな決勝戦となった。また九州勢が揃って2回戦へ進出。躍進が目立った大会でもあった。
- ・キャプテン会議の実施:大会に先立ち、単なる事務連絡会議はやめ、チームの中心にいるキャプテンに参集してもらい「キャプテン会議」を実施した。マナーの尊重、レフリーへの敬意、その他クラブとしての威儀を正すことを全キャプテンで誓い合ったうえで大会をスタートさせた。その効果は絶大なものがあった。

第4回東西学生クラブ対抗試合

- ・期日:12月18日 花園ラグビー場
- ・成績:くるみクラブ 64-33 同志社大H&T
- ・実施状況:首都圏と近畿圏に多数登録されている学生クラブチームは、秋季公式戦として関東学生クラブ選手権大会、関西学生クラブ選手権大会を戦っている。その東西の覇者による学生クラブNO1を決める対抗試合を大学選手権1回戦と抱き合わせで実施した。花園で開催されることで、学生クラブのモチベーションは飛躍的に向上し、学生クラブラグメンの憧れとなる大会となっている。

全国地区対抗大学大会予選へ学生クラブが参加

- ・期日:12月5日 熊谷市営ラグビー場
- ・成績:早稲田大学リスの会 0-34 新潟大学
- ・実施状況:全国地区対抗大学大会への学生クラブの出場権は、予選を経て出場する方式に変更されました。このうち関東地区の予選は、関東学生クラブ選手権優勝チームと地区対抗関東2区の優勝チームとの間で代表決定戦が行われた。

学生クラブ東西交流フェスティバル2005 in 菅平

- ・期日:9月2日～4日
- ・会場:菅平サニアパーク5面
- ・参加数:34チーム(関東/25、関西/9)
- ・実施状況:ゲームばかりでなく各種講習会を併設し、ラグビー精神やマナーの啓蒙、基礎スキルの習得などを目的とした大会とした
講習会:スキルアップ講習会(基本スキルのコーチング)、レフリー講習会(座学と実技)、女子

マネジャー講習会(クラブ運営) 女子マネ・
ラグビー講習会(体験会)
クラブユース交流試合(トライアル)

- ・ 期日: 10月23日
- ・ 会場: 近鉄花園ラグビー場
- ・ 成績: 福岡ユース 14 - 34 神戸 S I C X
- ・ 実施状況: 学校にラグビー部がない等ラグビーをやりたくても出来ない高校生たちは地域のユースクラブに所属してラグビーを続けている。そのうち、福岡と神戸のクラブユースが初の対抗試合(トライアル)を行い、ゲームのみならずアフタファンクションも実施してラグビーの神髄を味わった。

4. 障害者ラグビーへの支援

聴覚障害者ラグビーの普及・強化

- ・ デフ日本チーム英国遠征補助

知的障害者ラグビーの普及活動の支援

- ・ 緑生園ラグビークラブは、第4回真田洋太郎賞を受賞した。

5. 女子ラグビー

2005 ASIAN WOMENS 7s CHAMPIONSHIPS
(IRB主催)

- ・ 期日: 4月15日~16日
- ・ 会場: シンガポール Padan (SCC)
- ・ 概要: (参加国) アラビアンガルフ、中国、香港、カザフスタン、シンガポール、スリランカ、タイ、ウズベキスタン、日本の9カ国
- ・ 成績: 15日に総当たり戦、16日に予選結果によるトーナメント戦を行い、決勝戦でカザフスタンに敗れ2位となった。

「2006 女子ラグビーワールドカップ」アジア地区予選 (IRB主催)

- ・ 期日: 6月3日~6月5日
- ・ 会場: タイ・スブンブリー
- ・ 概要: 2006年8月末~9月にかけて行われる女子ラグビーW杯(カナダ、エドモントン)のアジア予選。カザフスタン、香港、タイ、日本の4カ国によるノックアウト方式で行った
- ・ 6月3日に79-0で香港を破ったが、5日の代表決定戦では、3-19のスコアでカザフスタンに破れ、アジア代表の座を獲得できなかった。

初心者講習会

- ・ 期日: 7月3日、9:30~11:00
- ・ 会場: 東京ガス大森グラウンド
- ・ 概要: 東京ガスラグビー部の全面協力により、初心者のための講習会と女子プレイヤーのための講習会、交流戦を行った。

菅平サマーキャンプ、レフリー講習会

- ・ 期日: 7月16日~18日
- ・ 会場: 菅平・ホテルやまびこ
- ・ 概要: 連盟加盟全チームを対象として行い、女子強化選手がコーチをして基礎から試合まで

を一貫して指導した。

レフリー講習会は、初歩的な部分から試合が吹けるようになるまでを、岸川氏にご指導いただき成果を得た

ユース強化選手菅平サマーキャンプ

- ・ 期日: 7月23日~25日
- ・ 会場: 菅平・佐久山荘
- ・ 概要: ユース強化選手の合宿と、3期ユース強化選手選考(スクール在籍者対象)を兼ねて行った。

ユース強化選手NZ遠征

- ・ 期日: 8月21日~27日
- ・ 遠征先: NZパーマストンノース
- ・ 概要: ユース強化選手のうち、中1以上の希望者を対象とした。現地コーチの指導と現地ユースチームとの対戦も組み入れた。

第18回女子ラグビー交流大会

- ・ 期日: 11月23日
- ・ 会場: 江戸川区競技場
- ・ 概要: 全国より集まった女子チームの対戦と、スクール所属の小学生女子による年代別の交流試合、中学生女子の紅白に別れての試合を行った。スクール女子同士の試合が好評で、年々参加者が増加傾向にある。

女子ラグビー強化選手公募選考会

- ・ 期日: 11月27日
- ・ 会場: 辰巳の森海浜公園ラグビー場
- ・ 概要: ユース強化選手4期生の公募と同時に、23歳以下の女子強化選手の公募も行った。

女子ラグビー東西対抗戦(九州協会、NPO法人ジュース ANA熊本協力)

- ・ 期日: 12月11日
- ・ 会場: 熊本KKウィング
- ・ 概要: 女性のスポーツ団体、NPO法人JWSの働きかけにより、2006年に行われる「世界女性スポーツ会議」のプレイベントとして行われた。強化選手を出身地により東西に分け、初めて九州で女子の本格的な試合を披露することができた。

Japan Women's Sevens 2006

- ・ 期日: 2006年3月5日
 - ・ 会場: 花園ラグビー場第2グラウンド
 - ・ 概要: チャンピオン方式で行う唯一の試合で、今年はPhoenixが優勝した
- 一般の試合の他に、エンジョイメント7's 中学生7'sの試合も行い、様々な参加者が7人制を楽しんだ。

香港 Women's Rugby Sevens 2006

- ・ 期日: 2006年3月29日~4月2日
- ・ 会場: 香港Foot Ball Club
- ・ 概要: 今年は派遣選手をU-23女子代表とし、若い選手に経験を積ませる考えで臨んだ。結

果は出場12カ国中11位の成績に終わったが、5月に行われるIRB主催のアジア7人制大会では、結果を出すべく強化を継続している。

12. 強化委員会

次の事業を実施した。

<目標>

- ・2007年ワールドカップに向けた「チーム」の基盤づくりの年とする。
- ・感動を与える「ジャパン」を創り、「ジャパン」への求心力を回復する。

1. 2005年度日本代表チームの成績目標

RWC2007アジア一次予選トップ通過

アジア3各国対抗優勝 韓国(22)・香港に勝つ

*韓国に勝利(50対31) 香港に圧勝(91対3)

世界ランキングを15位以内に上げる(現在18位)

- ・ウルグアイ(15)に勝つ
- ・スーパーカップ優勝<ルーマニア(13)/カナダ(14)/アメリカ(16)に勝つ>

<結果>

*世界ランキング16位まで上げた

*ウルグアイに惜敗(18対24)

*ルーマニアに勝利(23対16)

*カナダに惜敗(10対15)

世界トップグループに4トライ差までの戦いを行う

根拠:フィジー(9) イタリア(11)といったW杯ベスト8を狙う最短距離グループが、ここ数年のアルゼンチン、アイルランドとのテストマッチにおいて3~4トライ程度の差である、という理由から。

特に、

- ・アルゼンチン(8)戦においては、スクラムの課題を抽出する。
 - ・アイルランド(5)戦では、ディフェンス力の課題を確かめる
- 両チームとの戦いにおいて、攻撃における個々の力と課題、そしてジャパンとしての攻撃のデザイン(シナリオ)の方向性を検証する。

<結果>

*アルゼンチンに5トライ差の敗戦(36対68)

*アイルランド第1戦 ノートライ敗戦(12対44)
第2戦 5トライ差敗戦(18対47)

2. 強化基盤の整備

日本代表チームの強化およびプレーイング環境の整備と2007年W杯までの強化事業計画の立案

<実施事項>

- *3地域協会も含めたセレクションシステムの整備
- *フランスアドバイザーの導入
- *専任トレーナー、テクニカル、F&Cコーチ、

チーム総務の採用

日本代表チームの国際競技力向上を確実に果たすトップコーチの養成システムの確立

- ・コーチ委員会との連携
 - * トップコーチがトップコーチ資格(IRBレベル4)を取得
- 2007年および2011年の目標達成のためのエリート選手(日本代表候補選手)の発掘と育成
- ・エリートアカデミー
 - ・高校委員会、クラブ委員会との連携
 - ・U17ブロックトレセン

<実施事項>

*U17ブロックトレセンスタート(講師派遣、U17・18合同大会inタ張)

トップリーグチームと密接に連携した代表チームづくり

<実施事項>

*代表総務による各チーム窓口の関係構築(早期の派遣依頼、罰則の執行)

エリートレフリーとの連携

・レフリー委員会、チーム13との連携

<実施事項>

*セレクション合宿へのレフリー派遣

W杯ベスト8(2011年)に向けた情報・医・科学サポート体制の確立

- ・医科学委員会との連携
- ・ニュースレターの作成
- ・データベースの構築

<実施事項>

*ニュースレターの作成、配信を行った

3. スケジュール

日本代表

- ・3月15日~18日 メディカル&フィットネスチェック(JISS)
 - ・3月21日~25日 セレクション合宿(Jビレッジ)
 - ・3月29日~4月11日 フランス合宿
 - ・4月11日~26日 南米遠征
 - <16日:ウルグアイ戦・23日:アルゼンチン戦>
 - ・5月1日~16日 RWCアジア地区予選
 - <8日香港戦 ホーム・15日:韓国戦>
 - ・5月19日~24日 強化合宿(Jビレッジ)
 - ・5月25日~30日 スーパーカップ2005
 - <1回戦25日・決勝・3位決定戦29日>
 - ・6月5日~20日 アイルランド代表来日
 - <第1戦21日・第2戦19日>
 - ・11月5日 テストマッチ<対スペイン>
- 日本A・B・学生代表
- ・4月20日~5月1日 NZUシリーズ
 - <A代表24日・B代表27日・5月1日学生代表>
 - 日本A代表・日本B代表・日本学生代表
- U19日本代表
- ・3月27日~4月19日 U19世界大会

(南アフリカ)

- ・ 10月 セレクション合宿
10月6日～9日 天理高校グラウンドにて実施
 - ・ 12月強化合宿
 - ・ 11月25～28日 流通経済大学柏高校にて実施
 - ・ 12月11日～17日 U19アジア大会(パキスタン)
- セブンス
- ・ 7月 強化合宿
7月11日～17日 辰巳グラウンド他にて実施
 - ・ 8月 ワールドゲームス2005(ドイツ)
7月22、23日 ドイツ、デュイスブルク
 - ・ 3月強化合宿
3月11～17日 辰巳グラウンドにて実施

13. 普及育成委員会

次の事業を実施した。

<総務関係>

組織改革；三地域協会の普及育成委員会よりの推薦による構成メンバーを選定基準として設け、各カテゴリー毎の専従者と地域協会とのコンセンサスを図る。

申請書システム導入・確立；47都道府県 三地域協会 日本協会にて「申請書」による一括管理システムの導入と実施。これにより事業内容、予算管理、報告義務を確定して一元管理する。

Web利用「タグ用具貸出」システム運用；平成15年10月より標記貸出システムを日本協会ホームページよりの「申込紙」システムに切り替え、現状管理と三協会管理システムを構築。これにより貸出状況集計等の業績集計を図る。

日本協会フィリピンラグビー協会に支援)

「フィリピン協会へ用具の援助」

平成18年3月実施分「Philippines Rugby Union」
MetroManila Philippines

一般小学生対象 120名分の用具支援を行った。

<プロモーション委員会>

<三地域協会に対して、はじめてのラグビー教室等に講師派遣・開催助成をした>

- ・ 秋田県「県北ラグビーフェスティバル」大館ラグビー協会主催
5月1日 秋田県北秋田郡田代町「グリアス田代多目的広場」
小学生・中学生スクール生288名、指導員20名
合計308名参加
- ・ 東京都「ファルコンズ ラグビークリニック」
英国大使館「ロンドンファルコンズ来日記念」
8月17日 江東区「辰巳の森公園ラグビー場」
一般小学生・中学生、スクール生 100名、
指導員50名 合計150名
- ・ 東京都「タグフェスタIN多摩・はじめてのラグビー教室」
平成18年3月19日 多摩市「一之宮公園球技場」

一般小学生・中学生、スクール生 150名、
指導員25名 合計175名

- ・ 大阪府「はじめてのラグビーIN長居スタジアム」
日本代表、アイルランド戦前座イベントとして開催。
6月12日 大阪府・長居スタジアム
一般小学生対象 110名 指導員30名 合計140名参加
 - ・ 京都府「はじめてのラグビーIN宝ヶ池」
9月11日 宝ヶ池球技場
一般小学生対象 200名 指導員50名 合計250名参加
 - ・ 大阪府「はじめてのラグビーIN花園」
12月10日 花園ラグビー場第2グラウンド
一般小学生対象 100名 指導員25名 合計125名参加
 - ・ 大阪府「はじめてのラグビーIN花園」
平成18年2月19日 近鉄花園ラグビー場第2G
一般小学生対象 100名 指導員20名 合計120名参加
 - ・ 福岡県「はじめてのラグビーIN久留米」
6月12日 「久留米大学医学部グラウンド」
一般小学生対象 12名 指導員30名 合計142名参加
 - ・ 「第3回はじめてのラグビーIN佐世保」長崎県協会
10月16日 佐世保市総合グラウンド陸上競技場
一般小学生、小学生スクール生200名 指導員50名
合計250名参加
 - ・ 宮崎県「はじめてのラグビーボール教室」
12月14日 日向市小倉ヶ浜公園「日向サードーム」
一般小学生対象 150名 指導員60名 合計210名参加
 - ・ 沖縄県「平成18年度初めてのラグビー講習会」
平成18年3月5日 那覇市「銘苅小学校グラウンド」
一般小学生150名、指導員60名 合計210名参加
 - ・ 熊本県「初めてのラグビー教室」
平成18年3月19日 熊本県総合運動公園
一般小学生対象50名、指導員10名 合計60名参加
 - ・ 鹿児島県「はじめてのラグビーボール」
平成18年1月13日 国分市陸上競技場
一般小学生対象 300名 指導員30名 合計330名参加
- 以上、3地域にて12会場の開催。

参加者2180名 指導員460名 合計2640名が参加。

<学校体育関連事業に対して講師派遣・開催補助>
47都道府県協会 普及育成委員会タグ担当委員会への「タグ・ラグビー用具」(1P=60名分)の配布完備。

* 小学校配布用タグ・ボール「SAKURA-FUBUKI BALL」開発。

三地域協会 普及育成/タグ委員会への貸出用「タグ・ラグビー用具」

(1P=60名分・3セット)の配備完了)

学校指導者用「タグ・ラグビーガイドブック」配布完了6000部

同DVD配布完了1200部

各種イベントでの参加者への「参加賞」(タグちゃん、ラグちゃんのピン・バッジ)製作(1万個)と配布。

<中学生委員会>

<会議、研修会関係>

- ・北海道「北海道ミニ・ジュニアラグビーフットボール指導者研修会」

10月1～2日 NTTセミナーセンター及び月寒ラグビー場指導者・普及育成委員他21名、指導員13名
合計34名参加

- ・山口県「中国ブロックジュニアラグビー講習会」
6月18・19日 徳山大学・総合グラウンド
中学生ラグビー部員50名 指導員20名 合計70名
- ・奈良県「ジュニアラグビーインストラクター研修会」
平成18年3月18～19日 天理教(第38母屋)
インストラクター30名、指導員10名 合計40名
- ・熊本県「九州ジュニアインストラクター会議」
10月8日～10日 熊本県民総合運動公園ラグビー場
九州協会所属ジュニアインストラクター6名、
指導員2名 合計8名参加

以上、3地域にて4会場の開催。

参加者107名 指導員45名 合計152名が参加。

<大会関係に対して大会補助をした>

- ・長野県「第7回東日本ジュニア菅平ジャンボリー」
7月30日～31日 菅平サニアパーク(真田町グラウンド)
中学生・中学スクール生1700名 指導員70名
合計1770名参加
- ・青森県「第26回東北中学生ジュニア・交流大会」
8月13～14日 青森県「大鰐あじやら公園」
中学生・中学スクール生400名 指導員50名 合計
450名参加
- ・茨城県「第4回東日本U15ジュニア選抜大会」
平成18年3月18～19日 水戸市立ラグビー場ツイン
フィールド
中学生・中学スクール生570名 指導員180名
合計750名参加
- ・岐阜県「関西中学生ラグビー・ジャンボリー大会」
7月29日～31日 岐阜県数河高原平成グラウンド
中学生・中学スクール生260名 指導員25名
合計285名参加
- ・「第11回全国ジュニア交流競技大会」
平成18年1月2・3・4日 花園ラグビー場
中学生・中学スクール生352名 指導員100名
合計452名参加
- ・京都府「第7回近畿スクールジュニア大会」
11月18日 京都吉祥院公園球技場
中学スクール生200名 指導員50名 合計250名参加
- ・奈良県「平成17年度近畿ジュニア新人大会」
平成18年3月19日 天理高校グラウンド
中学スクール生250名 指導員20名 合計270名参加
- ・熊本県「第6回ジュニアラグビー九州ブロック大会」
10月9日～10日 熊本県運動公園ラグビー場中学生・
中学スクール生216名 指導員20名 合計236名参加
- ・九州協会「第7回九州ジュニアラグビー福岡・大分
佐伯ジャンボリー大会」

平成18年1月28日～29日・グローバルアリーナ

平成18年2月25日～26日 佐伯市運動公園
中学生・中学スクール生900名 指導員100名
合計1000名参加

以上、3地域にて9会場の開催。

参加者4848名 指導員615名 合計5463名が参加。

<小学生委員会>

<会議、研修関係にたいして、講師派遣、開催補助>

- ・秋田県「東北地区ミニラグビー指導者研修会」
10月22日～23日 秋田県営「あきたスカイドーム」
東北地区指導者56名、指導員13名 合計69名参加
- ・秋田県「東北・秋田県地区ミニ・ラグビー指導者対
象：新スタートコーチ講習会」開催
10月22日～23日 秋田県営「あきたスカイドーム」
東北地区指導者56名、指導員13名 合計69名参加
- ・関東協会「度関東地区ミニラグビー指導者研修会」
平成18年2月4～5日 リコエ東松山研修センター
関東地区ミニラグビー指導者140名、指導員15名
合計155名参加
- ・高知県「四国ラグビースクール協議会夏季研修会」
8月6、7日 土佐町保険福祉センター
小学生スクール生200名 指導員30名 合計230名参加
- ・奈良県「スクール指導者新スタートコーチ補助金」
平成18年2月26日 天理市(講習)天理高校グラウンド
スクール指導者30名、スクール生20名、指導員5名
合計55名
- ・奈良県「ミニ・ラグビーインストラクター研修会」
平成18年3月18～19日 天理市文化センター(講
習)天理高校グラウンド
インストラクター20名 指導員10名 合計30名
- ・福岡県「九州協会普及育成委員会ミニラグビーイ
ンストラクター研修会」
5月14日～15日 福岡朝日ビル多目的ホール
委員会委員8名 合計8名参加
- ・宮崎県「宮崎県ミニラグビー指導者講習会」
兼「新スタートコーチ講習会」
6月26日 宮崎県総合運動公園「木の花ドーム」
スクール指導者50名、指導員10名 合計60名
- ・沖縄県「普及育成委員指導者スタートコーチ講習会」
6月26日 沖縄市営グラウンド
スクール指導者60名、スクール生20名、指導員20名
合計100名
- ・鹿児島県「普及育成委員会スタートコーチ講習会」
7月3日 県立甲南高校グラウンド・スクール指
導者20名、スクール生20名、指導員20名 合計60名
- ・熊本県「ミニラグビーインストラクター研修会」
8月20～22日 国立阿蘇家・役員35名参加
- ・熊本県「九州協会ミニ・ラグビー指導者講習会」
8月20～22日 国立阿蘇青年の家
指導者135名、役員35名 合計170名参加
- ・福岡県「RS指導者対象スタートコーチ講習会」
9月11日 九州情報大学講義室及びグラウンド

スクール指導者30名 スクール生20名 指導員10名
合計60名

- ・九州協会「九州ラグビー協会普及育成委員会」
平成18年1月21～22日 グローバルアリーナ
委員会メンバー23名参加

以上、3地域にて14会場の開催。

参加者863名(除スクール生) 指導員181名
合計1044名が参加。

<大会関係にたいして、大会補助をした>

- ・北海道「第17回北海道ラグビースクール小学生大会」
8月～7日小樽市「小樽望洋台サッカー・ラグビー場」
小学生スクール生250名指導員30名合計280名参加
- ・福島県「第5回東北小学生交流大会」
10月8日～9日 いわき市「鮫川河川敷グラウンド」
小学生スクール生300名、指導員50名
合計350名参加
- ・東京都「ミニ・ラグビーフェスティバル」
平成18年2月20日 江戸川葛飾ラグビー練習場
小学生スクール生500名 指導員150名 合計650名参加
- ・東京都「第1回関東甲信越ブロック・ミニ交流大会」
11月20日 八王子市上柚木陸上競技場
小学生スクール生300名指導員20名合計320名参加
- ・大分県「第5回大分・宮崎ブロック交流大会」
7月22日～24日大分県「久住スポーツ研修センター」
小学生スクール生230名、指導員12名
合計242名参加
- ・熊本県「第32回九州少年ラグビー交歓会」
8月20～22日 国立阿蘇青年の家
小学生スクール生650名、指導員35名
合計685名参加
- ・福岡県「第6回西九州ミニラグビー交流大会」
9月23日 鳥栖スタジアム・小学生スクール生500
名指導員20名 合計520名参加
- ・宮崎県「第6回東九州ミニラグビー交流大会」
11月6日 清武町総合運動公園・小学生スクール
生530名、指導員26名 合計556名参加
- ・鹿児島県「南九州ミニラグビー大会鹿屋カップ」
12月4日 鹿屋市いこいの森グラウンド・小学生
スクール生200名、指導員50名 合計250名参加

以上、2地域にて9会場の開催。

参加者3460名 指導員393名 合計3853名が参加。

<タグ委員会>

<会議、研修関係に対して講師派遣、開催補助>

- ・「第2回全国小学生タグラグビー選手権大会」開催
優勝：汐入ホワイトベアーズ
準優勝：佐世保市立清水小学校・タグの実
- ・同予選会を全国12地区にて開催
予選参加チーム数：679チーム(延べ6790名が参加)
- ・第2回全国小学生タグラグビー選手権記録映像撮影
*デジタル記録収録。
- ・東京都「タグ・ラグビー指導者講習会」
12月3日 八王子市上柚木陸上競技場

小学校教員40名、指導員5名 合計45名参加

- ・福岡県「九州協会普及育成委員会タグ小委員会」
5月14日～15日 福岡朝日ビル地下目的ホール
委員会委員28名 合計28名参加
- ・宮崎県「タグ・ラグビー実技指導研修会」
6月19日 宮崎県総合運動公園「木の花ドーム」
県内小学校教員100名 指導員12名 合計112名
- ・沖縄県「タグ・ラグビー指導者講習会」
7月3日 沖縄市営グラウンド
委員会委員50名 協会関係者20名 合計70名参加
- ・佐賀県「タグ・ラグビー指導者講習会」
7月30日 佐賀県「武雄市白岩体育館」
県内小学校、中学校教員20名、指導員10名
合計30名参加
- ・熊本県「南関町タグラグビー指導者講習会(4日)」
「熊本県小学校教育研究会体育部会夏期合宿研修会」
8月4日～5日 上記会場
県内小学校、中学校教員100名、指導員20名
合計130名参加
- ・鹿児島県「タグラグビー指導者講習会」
8月23日 鹿児島大学教育学部
教員及びタグラグビー指導者50名、指導員10名
合計60名参加
- ・長崎県「第2回タグラグビー指導者講習会」
8月25日 佐世保市立金比良小学校体育館
県内小学校、中学校教員50名、指導員5名
合計55名参加
- ・大分県「タグ・ラグビー指導者講習会」
8月29日 大分市「スポパーク人工芝グラウンド」
県内小、中学校教諭50名、指導員12名
合計62名参加
- ・福岡県「タグ・ラグビー指導者講習会」
10月15日福岡市「さわやかスポーツ広場」
県内小学校教員60名、指導員5名 合計65名参加
- ・沖縄県「九州協会普及育成委員会タグラグビーイ
ンストラクター研修会」
10月22～23日読谷村「残波岬いこいの広場運動場」
県内インストラクター12名参加
「九州協会普及育成委員会(タグ委員会)」
平成18年1月21日～22日 グローバルアリーナ
タグ委員会メンバー23名参加
- ・九州協会「協会普及育成委員会(TRI研修会)」
平成18年1月21日～22日 グローバルアリーナ
タグ委員会メンバー23名参加

以上、3地域にて13会場の開催。

参加者606名 指導員99名 合計705名が参加。

<大会関係に対して、大会補助をした>

- ・山形県「第8回タグ・ラグビー東北大会」
7月17日 山形県新庄市「すばーていあ」
一般小・中学生、小・中学生スクール生200名
指導員30名 合計230名参加
- ・長崎県「第7回佐世保タグラグビーフェスティバル」

- 6月18日 佐世保市総合グラウンド陸上競技場
一般小・中学生、小・中学生スクール生1000名
指導員40名 合計1040名参加
- ・宮崎県「タグフェスタin宮崎」
8月6日 宮崎県総合運動公園「木の花ドーム」
一般小・中学生、小・中学生スクール生300名
指導員16名 合計316名参加
- ・大分県「第4回タグ・フェスタin大分」
8月27日～28日大分市「スポパークグラウンド」
一般小・中学生60名、指導員15名 合計75名参加
- ・佐賀県「タグ・フェスタin佐賀(武雄市)」
9月18日 武雄市白岩競技場
一般小・中学生、小・中学生スクール生150名
指導員20名 合計170名参加
- ・福岡県「タグ・フェスタinふくおか」
9月24日 アイランド花どんたく芝生広場特設グラウンド
一般小学生100名、指導員20名 合計120名参加
- ・熊本県「ANA・Yesスポーツラグビー大会」
10月10日 熊本県総合運動公園KKウイング
一般小・中学生、小・中学生スクール生300名
指導員50名 合計350名参加
- ・沖縄県「第8回スポーツ・レクレーション祭タグ・ラグビー大会兼タグ・フェスタIN沖縄」
10月22～23日 読谷村「残波岬いいの広場運動場」
一般小・中学生、小・中学生スクール生800名
指導員100名 合計900名参加
- ・鹿児島県「タグラグビーフェスタ」
平成18年2月25日 鹿児島ふれあいスポーツランド
一般小・中学生、小・中学生スクール生300名
指導員30名 合計330名参加
- ・熊本県「初めてのラグビーボール」
平成18年3月19日 熊本県総合運動公園
一般小学生50名、指導員10名 合計60名参加

以上、3地域にて10会場の開催。

参加者3260名 指導員316名 合計3576名が参加。

その他事業報告

「タグ用具貸出」システム平成17年より年度集計
関東協会エリア申込件数58件 3200名分
関西協会エリア申込件数22件 1200名分
九州協会エリア申込件数32件 2240名分
合計 112件にて5640名分の申込あり。

14. コーチ委員会

次の事業を実施した。

1. 指導者育成

JRFUコーチ資格の義務化に伴う各種講習会の開催した。

強化コーチ養成講習会の開催

6月25日・7月7日～7月11日 IRBレベル2・3

コーチトレーナーとして山本巧・川島淳夫

村上淳・黒岩純の4名が認定

育成コーチ養成講習会の開催

平成18年2月11日～26日(福岡で開催)

平成18年3月4日～5日(松戸で開催)

スタートコーチ養成講習会の開催

4月29日 関西地区対象に実施

5月7日

6月29日～30日(千葉)

平成18年1月28日～29日関東地区対象

トレーナー養成講習会の開催

5月7日

各種講習会へのコーチ派遣

2. 新スタートコーチ資格取得及び資格移行講習会の受講者数

関東地区：90ヶ所：2833名

関西地区：44ヶ所：2045名

九州地区：27ヶ所：685名

合計：161ヶ所：5563名受講

3. 研修会開催

トップチームゲーム会議の開催

7月2日～3日(協会・プレジデント)

三地域トップチームゲーム会議の開催

7月7日～11日(流通大)

11月11日～14日(協会会議室)

トップリーグコーチ(IRBレベル4・補講)

研修会の開催：11月11日～14日(協会会議室)

平成18年3月12日(青年館)

旧資格移行研修会の開催

5月7日(協会会議室)

4. コーチング研究

IRBトレーナー講習会への派遣

指導教材の開発(電子コンテンツ化)

5. コーチング出版関連

強化・育成コーチマニュアルの作成・配布

コーチングの指針の増版 3000部

6. 委員会の開催

・9月10日事故等防止策の死亡事故の防止策を検討

・5月7日・6月25日・9月10日・3月5日

7. 義務化に伴う事業

JRFUコーチ資格の義務化に伴う選手・チーム

登録用紙の変更 資格取得番号の記入

15. 医・科学委員会

次の事業を実施した。

<医・科学委員会総会>(平成18年3月11日～12日)

1. AIR設立に併せ、海外情報収集・発信をテーマにAIRとの合同カンファレンスを開催

AIRミッション(勝田隆)

海外の傷害予防情報:NZのケース(NZオタゴ大 Peter Milburn)

トップリーグ分析と国際情報(佐々木康・古川拓生)

アンチ・ドーピングムーブメント(赤間高雄)

熱中症対策(古谷正博)

2. 各部門報告事項

医事部門：ラグビー重症事故対策プロジェクト活動(中村明彦・山下修平) 脳震盪の取扱い(古谷正博) マウスガード着用義務化(前田憲昭) トレーナー部門：海外帯同トレーナー活動(渡辺誠・石山修盟)

アンチ・ドーピング部門：年次報告(赤間高雄)

科学・情報部門：人工芝の調査結果(藤掛一典)

<各部門事業活動報告>

各部門は事業活動を行うにあたり、日体協をはじめとする関連団体(特にJOC,JISS,JADAおよびtoto等)と積極的な連携強化を図った。

1. 医事部門：

三地域連絡協議会を中心に、トップリーグから地域協会・各都道府県レベルまでの医務活動の普及・支援および「重症事故」の定義を取り纏め安全対策委員会に答申

日本協会主催主要試合の医務担当について各地域協会と連携し全試合で実施

各日本代表チーム医務担当として代表選手のメディカルチェックを始め、海外遠征帯同(欧州・南米遠征、強化合宿等18回)等に帯同医師を延べ14名派遣

機関誌メディカルコーナーに「ラグビー重症事故 その発生と防止策」を、協会ホームページに「外傷障害ハンドブック」の内容を順次掲載

2. トレーナー部門：

ラグビーにおけるトレーナーの位置付けを明確にするとともに人材育成に注力し、セミナー(7月・3月) 研修会(3月)を開催し、延べ80名が参加した。特に、3月の研修会ではNZオタゴ大Peter Milburn教授を招聘し「ラグビーにおける傷害予防 バイオメカニクスの視点から」の講義を受講

日本代表チームのトレーナー担当として欧州・南米遠征を始め、海外遠征・強化合宿等に88日、各代表スコッド(JAPAN A・B、学生代表、U-19、高校代表、7's)に142日、合計230日にトレーナー延353名派遣

地域トレセンにて「セルフコンディション」をテーマに5ブロック(中国、四国、関東、東北、近畿)へトレーナーを派遣し教育・啓発活動

3. アンチ・ドーピング部門

ドーピング検査の実施：国内で実施された検査124検体：日本協会90検体(競技会検査76、競技外検査14)IRB34検体(競技会検査16、競技外検査18)

検査結果：1例でT/ET>4。競技外検査を2回追加実施した結果、生理的なものと判断その他は陰性

代表選手の居場所情報(選手=IRB,JADA)のコントロールおよびTUE申請

教育・啓蒙活動：大学選手権、全国高校大会出場

校にJADAガイドブックの配布等をはじめIRB実施の競技外検査に対する注意文書等の発信、機関誌に「ドーピング禁止リストとTUE」を掲載

4. 科学・情報部門(ラグビー科学研究発刊：内容は下記のとおり)

ラグビータレントを育成するための指導 パワーおよびスピードの発育学的評価

英国プレミアクラブにおけるアカデミー開発

ラグビー フランス トップチームのチームマネージメント

ラグビーピッチの特性と性能評価に関する基礎的研究

トップリーグ開催競技場のグラウンドコンディション - 第2報 -

トップリーグ2004年度ゲーム分析報告('04と'03のゲーム様相比較)

マイクロソフトカップ2004年度ゲーム分析報告('04と'03のゲーム様相比較)

トップリーグにおける一時的退出(シン・ビン)および退場について

16. 安全対策委員会

1. 安全対策委員会の開催

5月21日・平成18年3月19日

2. 三地域協会別各都道府県安全対策委員長会議開催 テーマ「タックル事故撲滅」

3. 重傷傷害報告の継続・事故対策の実施

4. 今夏の重傷事故多発に対して追跡調査の実施及び防止策の検討

5. タックルの安全対策DVD作成・配布

6. 練習環境アセスメントに関する全国調査の実施(高校・中学対象)

7. その他、安全対策の方向性、啓発活動の実施

17. 事業委員会

次の事業を実施した。

1. 主催大会の事業・企画・運営に関する事項

観客動員のためのチケットセールスおよび諸施策の展開

・年間チケット販売予定の早期決定と、計画的な広報発表を実施

・秩父宮、花園年間シートの企画設定と販売(秩父宮54席・花園14席)

スポンサー拡大の積極的なマーケティング活動

・RWC2011日本招致スポンサー獲得のための活動(招致スポンサー 20社)

・年間横幕協賛社獲得のための活動(年間協賛社16社/他大会協賛社あり)

共催・協賛者との積極的な協力による活動

・日本代表戦事業における新聞社との共同活動

・RWC 2011日本招致活動における関係協力社との共同活動

- ・全国大会(大学・日本選手権)における共催・後援社との共同活動
 - 各メディアに対する放送権の販売促進
 - ・日本代表戦におけるテレビ放映権の権利調整
 - ・トップリーグ地方放送局との放送促進と契約試合運営を円滑に進めるための諸施策の実施
 - ・日本協会主催大会の運営方法のマニュアル化
 - ・トップリーグ運営での地方開催地との連携
 - 大会・試合ごとに収支を明確にして、改善のための諸案を実施
 - ・事業予算の厳密な管理
 - ・支出抑制のための稟議書精査の徹底
 - ・収入見込み、収入報告の迅速化と管理
 - 協会ネットワークの構築
 - ・協会ホームページ(オフィシャル、トップリーグ、メンバーズクラブ)の活用
 - ・RWC2011日本招致チャレンジプログラムの構築
 - ・チャレンジプログラムによる全国加盟チームへのネットワークツールを提供
 - メンバーズ会員の増加
 - ・メンバーズクラブ会員の690人の新規会員獲得(4月～18年3月末)
 - グッズ商品の検討、拡販
 - ・日本代表グッズの企画・制作・販売の実施
 - インターネット通信販売による協会関係企業商品の委託販売の実施
 - その他必要な事
2. トップリーグ事業・企画・運営に関する事項
- リーグの目指す、あるべき姿の達成に向けて施策の展開
- 日程・開催地の調整・決定・答申
- ・開催地調整と会場確保
- 観客動員拡大のための諸政策の検討・実施
- ・有効な集客可能地域の事前ヒアリングの実施
 - ・参加チームの観客動員可能開催地の事前ヒアリングの実施
- 主管地域協会・開催地協会との連携強化による各目標値の確保(観客動員・普及育成・強化等)
- ・開催地協会 全体会議の実施による、試合運営・普及育成・観客動員に向けた諸施策の指導と共有
 - ・観客動員を目標にした告知活動・普及育成イベントの実施における予算確保と計画的実行
- 規約・大会要項等の見直し
- ・リーグ規約、規程の見直しを実施
- 参加チームとの定期連絡会議の開催・レフリー・コーチ・運営等々に関する事項
- ・参加チーム月例会議の実施
 - ・レフリー委員会 トップリーグ専門グループの計画的な活動実施
 - ・医科学委員会 トップリーグ専門グループの計画的な活動実施

- ・普及育成委員会 トップリーグ試合会場普及イベントの実施
- ・将来検討期間トップリーグパネルの諸施策提案
- その他必要事項

18. マーケティング委員会

次の事業を実施した。

1. 企業別マーケティング計画の作成と活動展開
2. 新規スポンサー獲得の促進
3. 計画的なフォロー体制の実施
4. 各新聞社協賛依頼活動の実施
5. 各種プログラム広告の依頼活動

19. W杯招致実行委員会

【事業の目標】

- ・2011年W杯日本招致を成功させるための事業
- ・招致成功のための内外の関係機関・団体等との連絡および協力に関する事業を推進した。
- ・その他前条の目的を達成するために必要な事業

<実施活動内容>

1. 投票までの活動
 - ・4月1日「チャレンジ2011キャンペーン」開始
 - ・4月8日 日本政府の閣議了解を受ける
 - ・4月2日 海外プレゼン アルゼンチン協会
 - ・5月13日 IRBへ入札文書の提出(618名の国会議員支援署名を添付)
 - ・6月1日 ラグビーチーム専用ブログ「ラグビーJAPAN チャレンジ2011ブログ」開始
 - ・6月22日～28日 W委員会より視察団来日対応
 - ・9月17日 トップリーグ開幕線海外メディア招待
 - ・9月22日 海外プレゼンテーション カナダ協会
 - ・10月13日～15日 Wリミテッド理事会日本で開催(参加者:シドミラー・ボブタッキー・マイクミラー・ジャクローレン・キットマコーネル・ビルポーモント 6名が来日)
 - ・10月14日 IRB役員ARI説明会実施
 - ・10月18日～28日・11月15日～19日 欧州プレゼンテーション 訪問先
 - イタリア協会(ドンディ会長・他7名)
 - フランス協会(ラパ会長・他5名)
 - アフリカ区協会(ブージャ会長)
 - ヨーロッパ地区協会(バツケ会長・他10名)
 - アイルランド協会(クロフォード会長・他5名)
 - ウェールズ協会(ピカリングチャマン・他3名)
 - イングランド協会(エンジェル会長他14名)
 - スコットランド協会(マッキーCEO他5名)
 - ・11月5日 日本代表 スペイン代表戦にアジア地区協会代表・オセアニア地区協会代表・アルゼンチン協会代表を招待
 - ・11月17日～18日 2011W杯開催国決定スケジュール(IRB理事会)

17日（日本時間）

18時15分 日本プレゼンテーション

19時15分 NZプレゼンテーション

18日（日本時間）

0時00分～0時30分 第1回目の投票

0時30分～1時00分 第2回目の投票

1時30分～開催国決定の記者会見

11対10（投票予想）でNZに決定する。

2. 招致協賛企業募集活動の実施 20社協賛
3. 国内広報活動の実施
4. 政・財・官・スポーツ関連への協力依頼行った。

各種会議開催状況・その他

平成17年

4月 7日(木) 監査(ジャパソクラブ)	10名	6月13日(月) W杯招致実行委員会(ジャパソクラブ)	35名
4月 7日(木) 事業委員会(ジャパソクラブ)	6名	6月14日(火) 会長連絡会(会長室)	6名
4月10日(日) 世界8強進出会議(ジャパソクラブ)	9名	6月16日(木) 広報委員会(ジャパソクラブ)	20名
4月10日(日) W杯招致委員会(ジャパソクラブ)	10名	6月17日(金) 平成17年度第1回理事会 (ジャパソクラブ)	25名
4月13日(水) コーチ委員会/トップチームコーチ資格養成 講習会(ジャパソクラブ)	5名	6月18日(土) 平成17年度第1回執行理事会 (ジャパソクラブ)	25名
4月16日(土) レフリー委員会(ジャパソクラブ)	8名	6月18日(土) 医・科学委員会/医事部門 (ジャパソクラブ)	6名
4月18日(月) 第11回理事会(ジャパソクラブ)	20名	6月18日(土) レフリー委員会/チーム13研修会 (2F 会議室)	25名
4月21日(木) 広報委員会(ジャパソクラブ)	20名	6月18日(土) 普及育成委員会(1F ミーティングルーム)	9名
4月21日(木) 技術/U19高校代表セレクション会議 (ジャパソクラブ)	14名	6月22日(水) 事業委員会/トップリーグコミティ会議 (ジャパソクラブ)	7名
4月26日(火) 会長連絡会(ジャパソクラブ)	6名	6月25日(土) 平成17年度第1回評議員会 (2F 会議室)	25名
4月27日(水) コーチ委員会/トップチームコーチ資格養成 講習会打ち合わせ(ジャパソクラブ)	6名	6月25日(土) コーチ委員会(ジャパソクラブ)	18名
4月27日(水) 第3回 2011RWC 日本招致委員会 (日本青年館)	33名	6月26日(日) 世界8強進出会議(ジャパソクラブ)	9名
4月28日(木) 事業委員会/トップリーグ (ジャパソクラブ)	20名	6月26日(日) 技術委員会/テクニカル会議 (強化スタッフルーム)	6名
4月29日(金) コーチ委員会/関西地区義務化対策 (大阪・クライトン江坂)	41名	6月29日(水) 事業委員会/トップリーグチーム担当者会議 (2F 会議室)	30名
5月 1日(日) 財務委員会(ジャパソクラブ)	21名	7月 2日(土) 技術/7人制日本代表スタッフ会議 (その他)	7名
5月 1日(日) 事業委員会/肖像権管理検討 (ジャパソクラブ)	7名	7月 2日(土)~3日(日) コーチ委員会 (2F 会議室・Hプレシデント青山)	60名
5月 4日(水) コーチ委員会/IRB ギャラハー氏と打ち合わせ (ジャパソクラブ)	4名	7月 2日(土)~3日(日) レフリー委員会/チーム13研修会 (ジャパソクラブ)	24名
5月 7日(土) コーチ委員会(ジャパソクラブ)	23名	7月 3日(日) 事業委員会/トップリーグ運営担当者会議 (東京駅八重洲ホール)	40名
5月 8日(日) 世界8強進出会議(ジャパソクラブ)	9名	7月 4日(月) W杯執行部会(ジャパソクラブ)	13名
5月13日(金) 事業委員会/トップリーグ部長会議 (2F 会議室)	25名	7月 5日(火) 総務委員会(ジャパソクラブ)	6名
5月15日(日) レフリー委員会(ジャパソクラブ)	38名	7月 7日(木)~11日(月) レフリー委員会/IRBトレーナー研修会 (流通経済大学)	8名
5月15日(日) コーチ委員会(ジャパソクラブ)	15名	7月 7日(木)~11日(月) コーチ委員会(流通経済大学)	11名
5月18日(水) 事業委員会/トップリーグメディカルコントロ ール部会(ジャパソクラブ)	5名	7月 9日(土) 高等学校校委員会/高等学校選抜大会 反省会(ジャパソクラブ)	21名
5月19日(木) 広報委員会(ジャパソクラブ)	20名	7月10日(日) 安全対策委員会(ジャパソクラブ)	8名
5月20日(金) 第12回理事会(ジャパソクラブ)	20名	7月10日(日) 財務委員会(ジャパソクラブ)	19名
5月21日(土) 安全対策委員会(ジャパソクラブ)	8名	7月11日(月) 安全対策委員会(九州協会)	20名
5月22日(日) 事業委員会/トップリーグ 広報PR・開催地 運営(2F 会議室)	50名	7月11日(月) 技術委員会/日本代表スタッフミーティング (強化スタッフルーム)	8名
5月23日(月) W杯招致実行委員会(ジャパソクラブ)	20名	7月16日(土) ルール委員会(ジャパソクラブ)	5名
5月25日(水) ルール委員会(ジャパソクラブ)	13名	7月16日(土)~17日(日) 医・科学委員会/トレーナー部門 (2F 会議室)	30名
5月27日(金) 事業委員会/トップリーグコミティ会議 (ジャパソクラブ)	5名	7月17日(日) 技術委員会/ディレクター会議 (2F 会議室)	16名
5月28日(土) 普及育成委員会/ジュニア・ラグビー改正WG 委員会(ジャパソクラブ)	14名	7月17日(日) 常務理事会(会長室)	7名
5月28日(土) 普及育成委員会/ジュニア・ラグビー事業 合同戦略会議(ジャパソクラブ)	16名	7月17日(日) 医・科学委員会/アンチドーピング部門 (ジャパソクラブ)	10名
5月28日(土) レフリー委員会(2F 会議室)	22名	7月17日(日) 世界8強進出会議(強化スタッフルーム)	9名
5月28日(土) 技術委員会(2F 会議室)	52名	7月17日(日) 事業委員会/トップリーグメディカルコントロ ール部会(2F 会議室)	34名
5月29日(日) 世界8強進出会議(ジャパソクラブ)	9名		
6月 3日(金) 技術委員会/日本代表テクニカルスタッフ打ち 合わせ(強化スタッフルーム)	2名		
6月 5日(日) 財務委員会(ジャパソクラブ)	21名		
6月 9日(木) 第13回理事会(ジャパソクラブ)	19名		
6月12日(日) レフリー委員会(ジャパソクラブ)	8名		

7月18日(月)レフリー委員会/レフリー割り当て調整会議 (ジャバンクラブ)	6名	10月9日(日)常務理事会(会長室)	6名
7月19日(火)平成17年度第2回理事会 (ジャバンクラブ)	22名	10月10日(月)アジアラグビーインスティテュート(AIR) 準備委員会(ジャバンクラブ)	16名
7月21日(木)W杯招致実行委員会(ジャバンクラブ)	33名	10月11日(火)W杯招致実行委員会(ジャバンクラブ)	35名
7月21日(木)広報委員会(ジャバンクラブ)	20名	10月11日(火)平成17年度第4回理事会 (ジャバンクラブ)	22名
7月22日(金)大学委員会(ジャバンクラブ)	12名	10月13日(木)財務委員会(ジャバンクラブ)	6名
7月23日(土)国体委員会(2F会議室)	12名	10月14日(金)レフリー委員会(1Fミーティングルーム)	6名
7月25日(月)事業委員会/トップリーグチーム会議 (大阪 H京阪)	21名	10月15日(土)重症事故撲滅プロジェクト (強化スタッフルーム)	10名
7月25日(月)コーチ委員会(流通経済大学)	5名	10月20日(木)広報委員会(ジャバンクラブ)	20名
7月28日(木)W杯招致実行委員会(ジャバンクラブ)	35名	10月21日(金)事業委員会/トップリーグ特別パネル合同委 員会(ジャバンクラブ)	16名
7月28日(木)W杯招致委員会(2F会議室)	35名	10月22日(土)高等学校委員会(1Fミーティングルーム)	6名
7月29日(金)技術委員会/ユース打ち合わせ (強化スタッフルーム)	6名	10月22日(土)技術委員会/代表チーム事業部 (強化スタッフルーム0)	15名
7月31日(日)レフリー委員会/アジアパネルレフリー研修会 打ち合わせ(ジャバンクラブ)	4名	10月22日(土)技術委員会/日本代表スタッフ会議 (強化スタッフルーム)	8名
8月9日(火)執行理事会(ジャバンクラブ)	21名	10月27日(木)重症事故撲滅プロジェクト (強化スタッフルーム)	2名
8月20日(土)(仮)日本協会創立80周年記念事業委員会 (会長室)	8名	10月27日(木)アジアラグビーインスティテュート(AIR) 準備委員会(強化スタッフルーム)	10名
8月24日(水)コーチ委員会(御茶ノ水グリーンH)	3名	10月28日(金)技術委員会/日本代表スタッフ会議 (ジャバンクラブ)	14名
8月26日(金)W杯招致実行委員会(ジャバンクラブ)	35名	10月29日(土)事業委員会/トップリーグコミティ会議 (2F会議室)	6名
8月28日(日)普及育成委員会 (1Fミーティングルーム)	20名	11月4日(金)高等学校委員会(ジャバンクラブ)	12名
8月29日(月)事業委員会/トップリーグチーム担当者会議 (2F会議室)	35名	11月4日(金)事業委員会/トップリーグメディカルコントロ ールトレーナー会議(2F会議室)	15名
8月30日(火)技術委員会(強化スタッフルーム)	8名	11月4日(金)W杯招致実行委員会(ジャバンクラブ)	32名
9月4日(日)レフリー委員会(ジャバンクラブ)	35名	11月4日(金)1Fミーティングルーム (1Fミーティングルーム)	4名
9月6日(火)平成17年度第3回理事会 (ジャバンクラブ)	23名	11月5日(土)事業委員会/トップリーグチームコーチ合同研 修会(Hプレジデント青山)	40名
9月6日(火)技術委員会(強化スタッフルーム)	8名	11月5日(土)技術委員会/ディレクター会議 (強化スタッフルーム)	8名
9月10日(土)財務委員会(ジャバンクラブ)	17名	11月6日(日)(仮)日本協会創立80周年記念事業委員会 (会長室)	5名
9月10日(土)コーチ委員会(ジャバンクラブ)	24名	11月8日(火)W杯招致委員会(2F会議室)	60名
9月11日(日)技術委員会/ユースセレクション会議 (ジャバンクラブ)	9名	11月8日(火)事業委員会(ジャバンクラブ)	18名
9月12日(月)技術委員会(強化スタッフルーム)	9名	11月8日(火)事業委員会/トップリーグコミティ会議 (ジャバンクラブ)	15名
9月15日(木)広報委員会(ジャバンクラブ)	20名	11月9日(水)会長連絡会(皇家飯店)	8名
9月19日(月)技術委員会/代表チーム事業部 (ジャバンクラブ)	11名	11月11日(金)コーチ委員会(2F会議室)	26名
9月22日(木)国体委員会/国体抽選会 (ジャバンクラブ)	10名	11月12日(土)財務委員会(ジャバンクラブ)	17名
9月25日(日)普及育成委員会/ジュニアラグビー改正WG 委員会(テニスコート管理事務所2F)	13名	11月12日(土)重症事故撲滅プロジェクト (強化スタッフルーム)	11名
9月28日(水)アジアラグビーインスティテュート(AIR) 準備委員会(ジャバンクラブ)	11名	11月13日(日)レフリー委員会/運営委員会 (1Fミーティングルーム)	12名
9月29日(木)監査特別委員会(ジャバンクラブ)	6名	11月14日(月)事業委員会/トップリーグ運営担当者会議 (2F会議室)	30名
9月30日(金)コーチ委員会(1Fミーティングルーム)	4名	11月17日(木)広報委員会(ジャバンクラブ)	18名
9月30日(金)技術委員会/代表チームスタッフ会議 (ジャバンクラブ)	3名	11月21日(月)事業委員会/トップリーグチーム部長会議 (ジャバンクラブ)	25名
9月30日(金)事業委員会/トップリーグ特別パネル合同委 員会(ジャバンクラブ)	14名	11月23日(水)医・科学委員会/医事部門 三地域連絡会 (1Fミーティングルーム)	7名
10月2日(日)重症事故撲滅連絡協議会 (強化スタッフルーム)	11名	11月23日(水)常務理事会(会長室)	7名
10月2日(日)アジアラグビーインスティテュート(AIR) 準備委員会(強化スタッフルーム)	15名		
10月3日(月)技術委員会(ジャバンクラブ)	35名		
10月3日(月)W杯招致実行委員会/執行部会 (ジャバンクラブ)	12名		

11月23日(水) 事業委員会 / トップリーグ特別パネル合同委員会(ジャパソックス)	13名	1月28日(土)~29日(日) コーチ委員会 / 新スタートコーチ トレーナー講習会(ジャパソックス)	7名
11月23日(水) 事業委員会 / トップリーグコミティパネル会議 (ジャパソックス)	8名	1月29日(日) 財務委員会(1F ミーティングルーム)	12名
11月27日(日) 安全対策委員会(ジャパソックス)	10名	2月 1日(水) 財務委員会(ジャパソックス)	10名
11月28日(月) 執行理事会(ジャパソックス)	22名	2月 1日(水) 技術委員会 / ディレクター会議 (ジャパソックス)	12名
12月 2日(金) 平成17年度第 5 回理事会 (ジャパソックス)	22名	2月 4日(土) 普及育成委員会 (テニスコート管理事務所2F)	12名
12月 3日(土) 技術委員会 / 代表チーム事業部 (強化スタッフルーム)	5名	2月 4日(土) コーチ委員会 (オークラホテルヴィレッジつくば)	12名
12月 4日(日) 広報委員会(国立競技場 会議室)	22名	2月 5日(日) 財務委員会(ジャパソックス)	10名
12月 4日(日) 重症事故撲滅プロジェクト (強化スタッフルーム)	11名	2月 5日(日) 国際プロジェクト会議(会長室)	10名
12月 4日(日) アジアラグビーインスティテュート(AIR) 準備委員会(ジャパソックス)	15名	2月 6日(月) 技術委員会 / 代表チーム事業部 (ジャパソックス)	10名
12月 8日(木) 重症事故撲滅プロジェクト (強化スタッフルーム)	2名	2月11日(土) 監査委員会(2F 会議室)	10名
12月 9日(金) W杯招致委員会(2F 会議室)	50名	2月11日(土) 普及育成委員会 / タグチャンピオンシップ 実行委員会(ジャパソックス)	16名
12月 9日(金) W杯招致実行委員会(ジャパソックス)	34名	2月12日(日) 財務委員会(ジャパソックス)	10名
12月12日(月) 事業委員会 / 大学選手権代表者会議 (2F 会議室)	45名	2月16日(木) 広報委員会(ジャパソックス)	20名
12月12日(月) 技術委員会 / ディレクター会議 (強化スタッフルーム)	13名	2月19日(日) 技術委員会 / 代表チーム事業部 (ジャパソックス)	19名
12月12日(月) レフリー委員会 / レフリーコーチ研修会 (2F 会議室)	32名	2月25日(土)~26日(日) レフリー委員会(2F 会議室)	9名
12月16日(金) 高等学校委員会 / 高等学校指導者研修会 運営委員会(ジャパソックス)	12名	2月25日(土) 社会人委員会(ジャパソックス)	10名
12月25日(日) コーチ委員会 打ち合わせ (1F ミーティングルーム)	2名	2月25日(土) 高等学校校委員会 / 高等学校選抜大会 実行委員会(ジャパソックス)	21名
12月26日(月) 会長連絡会(大阪 唐橋)	7名	2月26日(日) 技術委員会 / 代表チーム事業部 (ジャパソックス)	8名
12月26日(月)~30日(金) レフリー委員会 / レフリー研修会 (大阪 近鉄花園ラグビー場)	14名	3月 4日(土) レフリー委員会 (テニスコート管理事務所2F)	9名
平成18年		3月 8日(水)~9日(木) 医・科学委員会 / トレーナー部門 国立スポーツ科学センター	60名
1月 7日(土) アジアラグビーインスティテュート(AIR) 準備委員会(ジャパソックス)	12名	3月10日(金) 執行理事会(ジャパソックス)	21名
1月10日(火) 技術委員会 / 代表チーム事業部 (ジャパソックス)	8名	3月11日(土)~12日(日) 医・科学委員会(2F 会議室)	24名
1月12日(木) 事業委員会 / マイクロソフトカップ代表者会議 (2F 会議室)	30名	3月12日(日) コーチ委員会 / トップチームコーチ資格養成 講習会(日本青年館)	30名
1月12日(木) 平成17年度第 6 回理事会 (ジャパソックス)	22名	3月12日(日) 技術委員会(ジャパソックス)	32名
1月13日(金)~15日(日) 高等学校委員会 / 高等学校指導者研修会 (2F 会議室)	45名	3月15日(水) 広報委員会(2F 会議室)	17名
1月14日(土) 高等学校校委員会 / 高校選抜大会打ち 合わせ(ジャパソックス)	6名	3月16日(木) 平成17年度第 7 回理事会 (ジャパソックス)	22名
1月15日(日) 事業委員会 / トップリーグメディカルコント ロール部会(2F 会議室)	21名	3月16日(木)~17日(金) 技術委員会 / 代表チーム事業部 (ジャパソックス)	3名
1月15日(日) 重症事故撲滅プロジェクト (ジャパソックス)	7名	3月18日(土) レフリー委員会(ジャパソックス)	37名
1月19日(木) 広報委員会(ジャパソックス)	22名	3月20日(月) コーチ / レフリー委員会(ジャパソックス)	5名
1月22日(日) 財務委員会(1F ミーティングルーム)	12名	3月22日(水) 事業委員会 / トップリーグ準備会議 (ジャパソックス)	11名
1月26日(木) アジアラグビーインスティテュート(AIR) 関連会議(ジャパソックス)	16名	3月23日(木) 高等学校校委員会 / 高等学校選抜大会 抽選会(ジャパソックス)	25名
1月27日(金) 高等学校委員会 / 高等学校指導者研修会 運営委員会(ジャパソックス)	12名	3月23日(木) 事業委員会 / トップリーグパネル会議 (ジャパソックス)	16名
		3月23日(木) 高等学校校委員会 / ジャパソックス高校の 部実行委員会(ジャパソックス)	10名
		3月25日(土) 平成17年度第 2 回評議員会 (2F 会議室)	32名
		3月26日(日) 大学委員会(ジャパソックス)	12名
		3月26日(日) 安全対策委員会(2F 会議室)	9名